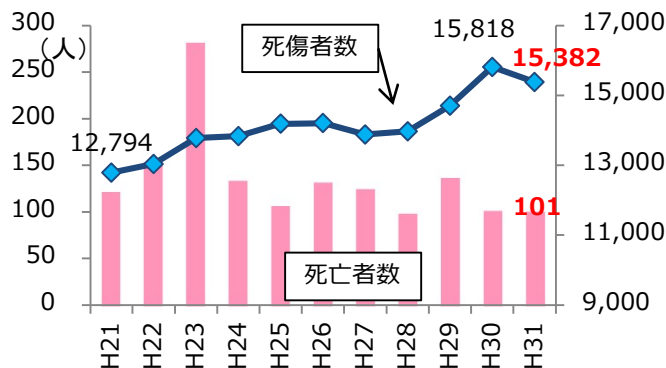


労働災害が増えています！ 荷物の積み降ろしを安全に

平成31年／令和元年の労働災害（陸運業）

- ◆ **死亡者数は101人。**
 - ・ 平成29年比で36人（26.3%）減少。
- ◆ **死傷者数は15,382人。**
 - ・ 平成29年比で676人（4.6%）増加。
- ◆ **災害発生率（千人率）は8.55**
 - ・ 全産業平均 2.22

陸上貨物運送事業における労働災害発生状況の推移

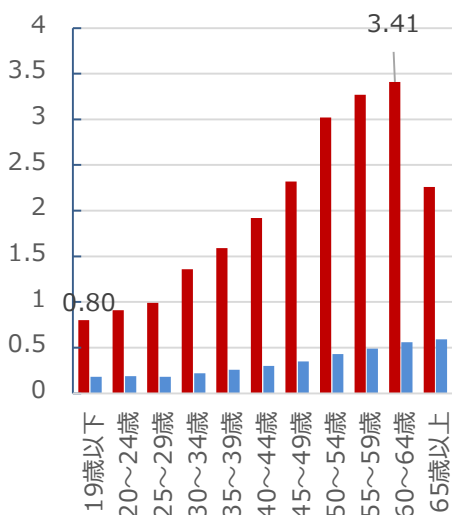


陸上貨物運送事業では、働く人1000人当たりの災害発生率（千人率）が、他の主要な産業と比べてかなり高い水準になっています。キケンな作業をそのままにせず、従業員の命と健康を守るため、作業方法などの見直しに着手してください。

詳細は裏面

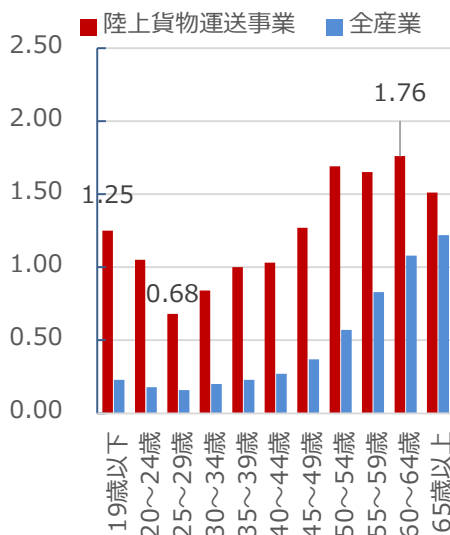
年齢が上がるほど
転落しやすいので注意

墜落・転落災害の年齢別
年千人率（2019年）



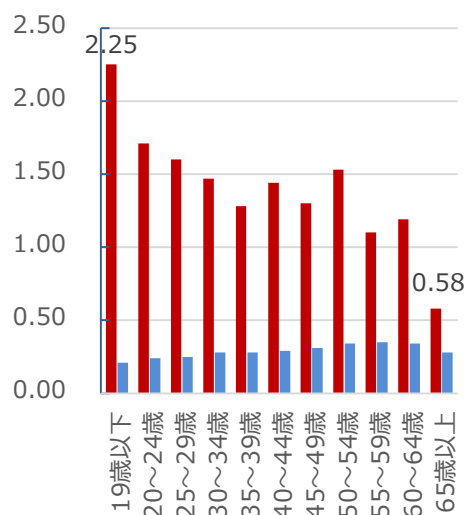
50代、60代に加え、
20代前後も転倒に注意

転倒災害の年齢別
年千人率（2019年）



腰痛は若年ほど多い
無理させていないか

動作の反動・無理な動作災害の
年齢別年千人率（2019年）



令和2年5月末現在の労働災害（陸運業）

○令和2年の死傷者数は、前年同期比 2.0%増加 13次防基準年の平成29年同期比 4.3%増加。

今年に入ってから前年比で増加しています



荷役作業時の死亡災害にみる災害パターン別の主な原因と対策

いつもの作業の少しの不具合が、重大事故につながります

■ トラック・荷台等からの墜落・転落による死亡災害

足を滑らせてリアバンパーから転落



テールゲートリフターから転落



必ず保護帽を着用しよう
荷台へのステップなど昇降設備を設けましょう

■ トラック・荷台等での荷崩れによる死亡災害

固定ベルトを外した途端に多くの角材が落下



ドラム缶とともに転落。ドラム缶が被災者に直撃



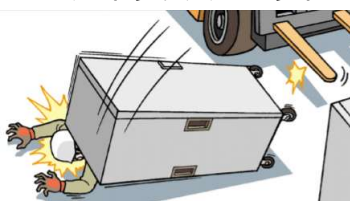
荷崩れしないよう、積み付け時に、適切な固定・固縛を行いましょ

■ フォークリフト使用時における死亡災害

歩行者立入禁止エリアにいた被災者がフォークリフトと接触



フォークリフトアップ（上昇）時の安全不確認により被災者がコールドロールボックスパレットの下敷きに



フォークリフトのオペレーターやその周囲の作業者は、定められたルールをしっかりと守りましょ

■ トラックの無人暴走による死亡災害

坂道で動き出した無人トラックを止めようとして轢かれる



積雪路面で無人トラックが動き出し住宅ガレージの支柱に挟まれる



降車時には必ず逸走防止措置（パーキングブレーキ→エンジン停止→ギアロック→輪止め）を実施しましょ

■ トラック後退時における死亡災害

トラックの後退誘導時にトラックと電柱に挟まれる



トラックの荷役作業指示中に後退してきた別のトラックに接触



後退誘導のルールを定めましょ
トラックを後退させるのは後方確認ができるときだけにしましょ

荷役作業を安全に行えるよう、床の凹凸をなくしたり、明るくしたり、整理整頓を行うなどの基本的な対策も大切です

陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドラインをご活用ください

